

イエスを見ると金持ちも生き方が変わる

ルカ 19章 1-10節

(そのとき、) イエスはエリコに入り、町をとおられた。そこにザアカイという人がいた。この人は徴税人の頭で、金持ちであった。イエスがどんな人か見ようとしたが、背が低かったので、群衆に遮られて見る事ができなかった。それで、イエスを見るために、走って先回りし、いちじく桑の木に登った。そこを通り過ぎようとおられたからである。イエスはその場所に来ると、上を見上げて言われた。「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい。」ザアカイは急いで降りて来て、喜んでイエスを迎えた。これを見た人たちは皆つぶやいた。「あの人は罪深い男のところに行って宿をとった。」しかし、ザアカイは立ち上がって、主に言った。「主よ、わたしは財産の半分を貧しい人々に施します。また、だれかから何かだまし取っていたら、それを四倍にして返します。」イエスは言われた。「今日、救いがこの家を訪れた。この人もアブラハムの子なのだから。人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである。」

説教

主よ、御前では、全宇宙は秤（はかり）をわずかに傾ける塵、朝早く地に降りる一滴の露にすぎない。（知恵 11:22）

旧約聖書（知恵の書 11 章）はしばしば宇宙的スケールで語りかけてきます。新約聖書（福音書）では人の子となったイエスを記しているので宇宙的なものは少ないようにも思えます。きょうのエピソードもエリコの町で木登りしたザアカイにイエスが語りかけるというローカルな話です。

ある議員がイエスに、「善い先生、何をすれば永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか」と尋ねた。イエスは言われた。「なぜ、わたしを『善い』と言うのか。神おひとりのほかに、善い者はだれもいない。『姦淫するな、殺すな、盗むな、偽証するな、父母を敬え』という掟をあなたは知っているはずだ。」すると議員は、

「そういうことはみな、子供の時から守ってきました」と言った。これを聞いて、イエスは言われた。「あなたに欠けているものがまだ一つある。持っている物をすべて売り払い、貧しい人々に分けてやりなさい。そうすれば、天に富を積むことになる。それから、わたしに従いなさい。」しかし、その人はこれを聞いて非常に悲しんだ。大変な金持ちだったからである。(ルカ 18:18-23)

ザアカイのエピソードのすこし前に記されている「金持ちの議員」から引用しました。

ザアカイと議員は「金持ち」という点が同じです。議員は「非常に悲しむ」だけで、重要なイエスの忠告「持っている物をすべて売り払い、貧しい人々に分けてやりなさい」には従えませんでした。一方、ザアカイは財産の半分を施しにあて、更にだまし取っていたお金は4倍にして返すと「主」イエスに自主的に告白しています。イエスを訪ね、教を聞いている議員に対して、徴税人がイエスにアポを取れるはずもなく、一目だけでもイエスを見ようとザアカイは木登りをしています。イエスから黙って立ち去る議員に対し、家に泊まるぞとイエスから声をかけられたのはザアカイです。ザアカイはイエスのひきたてに反応し、すぐに施ししますと主に告白しました。

このように福音に記録されている「議員」と「ザアカイ」を比べてみるとイエスは徴税人ザアカイをずいぶんとひいきしている印象が残ります。なにしろ名前と呼ばれるのはザアカイで議員は名前と呼ばれることなく、ただの議員さんです。

どうしてイエスはザアカイをひいきするのだろうと考えていたら、第一朗読冒頭の「主よ、御前では、全宇宙は秤（はかり）をわずかに傾ける塵、朝早く地に降りる一滴の露にすぎない」に思いあたりました。イエスさまは宇宙的なスケールの神の御子です。議員にしろ、ザアカイにしろイエスからすれば「一滴の露」でしかありません。でもイエスさまはそれぞれに必要なことをしているのです。けっして議員を軽んじたり、ザアカイだけをひいきしているわけではありません。わたしたちは神のみ心をそれぞれの事情、自分の

都合の中でしか受け取ることができない宿命を背負っています。だからこそ
耳をすませて主の声を聞き取りましょう。

**主よ、あなたは罪に陥る者を少しずつ懲らしめ、罪のきっかけを思い出させて人を
諭される。悪を捨ててあなたを信じるようになるために。**（知恵 12:2）
